

宣教師の生活に求められること

宣教師の生活に適応するから翻案—(リソース小冊子, 2013年)

人は新しい経験(例えば、教会に加わる、新しい学校に通う、など)を始めるとき、その機会に喜びを感じます。同時に、何が起るかわからないので不安にもなります。時間の経過とともに、そのようなチャレンジに対処できるようになり、その過程で成長していきます。

伝道も例外ではありません。伝道はすばらしい霊的な冒険、あるいは少なくとも対処可能なチャレンジのように思われます。しかし、予想外の、思いも寄らないほど難しい、あるいは不愉快な問題や経験に直面することもあります。そのようなとき、どうすれば適切に対処できるだろうかと疑問に思うかもしれません。問題の処理に役立つということで、かつては頼りにしていた援助手段が、利用できなくなることもあります。やってみようという気になる代わりに、不安になったり、いらいらしたり、疲れ果てたり、不満を抱いたりするかもしれません。痛み、胃のむかつき、不眠、あるいは病気など、身体的症状が出てくるかもしれません。学習や人とのつき合いに支障を来すこともあります。気持ちが沈んだり、やめたくなくなったりするかもしれません。

伝道活動のチャレンジは幾つかの種類に分類されます。

全般

あなたは伝道中にたくさんの変化や移行を経験します。よく知っている対処法をいつも使えるわけではないので、新しい方法を学ばなければなりません。かつていつもくつろいでいた夕方や週末が、今や最も忙しい時となります。ぎこちないと感じることもあります。時にはもがき苦しむこともあります。苦しんでいる他の宣教師をどのように助ければよいのか悩むこともあります。

肉体面

1日に11-12時間もの間、座ることができず、歩き、自転車に乗り、階段を上り、立ったままいることがあるかもしれ

ません。かつてのように十分な睡眠が取れないかもしれません。不慣れた食べ物を口にしなければならないこともあります。悪天候の中を出かけ、また新種の細菌にさらされることもあります。とにかくこれまでにない状況に疲れ果ててしまうことがあります。

情緒面

行わなければならない全てのことに不安を感じるかもしれません。なかなか緊張をほぐせないこともあります。ホームシックになったり、落胆したり、退屈したり、孤独感を抱いたりすることもあります。拒否、失望、あるいは危険さえ経験することがあります。そばにいて助けてあげられない家族や友人について心配することもあります。

社会性

共通のものをたくさん持っている同僚、あるいはそうでない同僚とともに狭い空間で一緒に生活することになります。知らない人に話しかけ、教会の指導者たちと接し、教会員とすぐに親しくなり、求道者を愛することを学ぶように期待されます。

知性

あなたは新しい言語を学んでいるかも知れません。レッスンや聖文に精通し、教える技術を習得し、問題が生じたときにそれを解決する必要があります。計画し、目標を何とかして達成し、変化に適応し、あらゆる種類の現実的な問題を解決する必要があります。

霊性

証を強め、誘惑に立ち向かい、御霊を感じ認識できるようになろうと自分にチャレンジします。批判を受け入れ、悔い改め、自分の弱点と向かい合い、謙虚に悔い、かつてなかったほど主に頼る必要があります。

新しい経験に適応する

新しい状況に足を踏み入れる多くの人と同様に、宣教師も、MTCに入所するとき、また任地に足を踏み入れるときに、情緒面の適応という分野で4つの局面または段階を経験することがよくあります。

1. 期待

試練を熱心に求める気持ちを感じることがあります(1 ニーファイ3:7参照)。

目的意識と天の御父への忠誠心が強くなるのを感じることがあります(3 ニーファイ5:13参照)。



2. 予期せぬ発見

故郷、家族、友人を思ってホームシックになり、さらには伝道に出ようと決意したことに疑問を抱くことがあります(アルマ 26:27 参照)。

睡眠障害、食欲の変化、あるいはいらだちなど、ストレスの肉体的な兆候に気づくことがあります。

ルールや期待されている事柄に対して自分が批判的になり、忍耐力が弱いことが分かって、驚くことがあります。

このような感情を抱くのは普通のことです。こういった問題のいずれか、あるいは全てを持っているとしても、このことを知っておいてください。それは多くの新しい宣教師が経験する一時的な状況です。いずれこれらの感情は消え去り、適応できるということを心に留め、自信を持ってください。

3. 「わたしはできます」

教えたり外国語を話したりする技術は少しずつ上達します。

喜んで伝道部のルールに従い、期待されている事柄にこたえられるようになります。

「教訓に教訓」を学ぶにつれて、自分に対し忍耐できるようになります(イザヤ 28:10; モーサヤ 4:27 参照)。

ストレスの肉体的な兆候は、たとえあったとしても、次第に消えてなくなります。

4. 情緒的な自立

決められた毎日の務めを気持ちよくこなせるようになります。

個人として強くなり成長していることが分かります。

日々少しずつ成長していくとはどういうことなのか、理解できるようになります(教義と聖約 98:12 参照)。

さらに自信を深め、仕えたいという望みを増し加えることができます。

